



モルック体験イベント開催について

室内イベント編

2021年6月10日

Ver.1

作成部署：普及部



1. 本資料について

2. モルックイベントの注意点

- ① 対象年齢
- ② 室内でのモルックイベントについて
- ③ 必要な備品

3. モルックイベント イメージ写真

- 本資料は、日本モルック協会に講師派遣を依頼があった際に、「モルック体験イベント」を開催するにあたって参考資料として活用頂くために纏めた資料です。
- 講師派遣などの依頼者から相談された際に内容を確認し、回答する際の参考としてください。
- また、本資料を依頼者へ送付頂いても構いません。

モルックイベントの注意点

その1：対象年齢

- 推奨する年齢は、小学生高学年以上となります。
- 小学生低学年や幼児（4歳以上）の場合は、モルック投擲する位置をスキットルの近くとすることで投げる体験をすることはできると思いますが、ゲーム（試合形式）としての体験には至らず、魅力が伝わりにくくなります。
- 3歳以下のお子様の場合は、危険な投擲になる可能性もあるため、推奨していません。
- 高齢者の方も比較的簡単に楽に遊べます。
- 激しい運動にはなりませんが、スキットルを立てる動作で屈伸を必要とします。足腰の運動になりますが、補助が必要な場合は様子を見て判断してください。

モルックイベントの注意点

その2：室内でのイベントについて

【コートของ広さ】

- 1コートが一般的 1コート 最低2m×8mは必要
- ゲーム形式を取り入れない場合は「1 m × 5 m」でも可

【地面】

- モルック・床双方が傷つくため、コンクリートや木、畳は不可。
- 絨毯が望ましい。できれば人工芝シートなどを敷く事をオススメします。

【人員】

- 1コートあたり2人は必要（説明+モルックの実演、誘導声かけ+モルック実演手伝い）。
- 4時間が限度であるため、交代要員を確保願います。

【1人が体験する時間】

- 体験頂く内容によって対応時間が変わります。
- 次ページに推奨ゲームを記載します。

【推奨ゲーム①：一人でチャレンジ系】

「5回投げてピッタリ30点」 難易度：★★☆☆☆

- ・文字通り、5回投擲する間にピッタリ30点を狙うゲーム
- ・5回/人とプレイ回数がしっかりと決まるので短時間で交代頂ける

「3回投げて30点以上」 難易度：★★★★☆☆

- ・ブレイク位置から3回投げて30点以上を目指す。（最高は36点）
- ・こちらも短時間で交代が可能
- ・得点をランキング形式で記録可能で他人と競うことができる

（注意点）推奨ゲーム①の場合の講師派遣の適正人数に関しては、1コートにつき、人員3名が基準となり、人員に関しては、当会員だけでなく、貴社・貴団体で担当いただいても構いません。

【推奨ゲーム②：対戦系】

- ・ 通常のゲーム形式（正式な50点上がり、若干時間短縮になる30点上がり等）です。
- ・ 通常ゲームは20分以上かかることもあります。

「親子対決、ファミリー対決」

- ・ 1対1でも複数人チームでもOK

「スタッフと対決」

- ・ 当日の対応スタッフが元日本代表選手？ということも・・・

「複数チーム対決」

- ・ 3チーム対戦や4チーム対戦も可能

(注意点)推奨ゲーム②の場合の講師派遣の適正人数に関しては、参加者10名程度につき、

一人のスタッフが対応することが望ましいです。

(例として、15名の参加者の場合は、3名1チームで対戦。モルックセット2台とし、スタッフは2名必要と判断。)

モルックイベントの注意点

その3：必要な備品

- モルックセット

- 得点表

手元と掲示用があるとベスト（メモ帳や白板など）

- 床保護材

人工芝、絨毯、マットレス等

- スキットルやモルック棒が転がっていくのを防止する柵

（柵の高さは最低おとなの膝くらいの高さとし、モルックやスキットルが転がっていかないために柵間や柵の下部から床までの間隙は5 c m以下が望ましい。コートの方を囲う形で柵を準備する。

柵の代用として2方は壁であっても良いが、壁に当たるとモルック・壁双方が傷つく恐れが高いため、マットレス等の保護材が必要）

※広いスペースが取れ、周囲に人や物がいない場合、柵は不要の場合がある。

- 遊び方の説明パネルがあるとさらに望ましい。

データは日本モルック協会で保有。要印刷





楽しい体験会を！モルックの魅力が伝わりますように！